

2023トルコ南東部地震

TMAT 災害医療活動報告

2023年2月14日 11:00

第7報

2月13日

日本時間 9:30 頃

第1陣2班の4名が成田空港から出発。イスタンブールを経由して、現地時間13日22:00頃にアダナに到着する予定。

7:40 頃 (以下現地時間)

先遣隊3名、第1陣6名、通訳4名の13名はアダナの宿舎を出発。昨日確認した活動サイトから活動場所が変更になるとの連絡が入り、まずはオスマニエ災害対策本部に向かってから活動サイトを目指すこととなった。

なお、安全面を考慮し生活拠点はアダナに置き、活動サイトまでは毎日通う形をとることにした (片道約2時間)。

8:30 頃

EMTCC に報告する診療報告 MDS (Minimum Data Set) について、本日より運用が開始されると EMTCC に入っている JDR 医師から連絡が入る。早速昨日数名の診察をした分について、MDS に登録。今回のトルコ地震支援で運用される EMTCC の MDS 報告について、TMAT が最初の登録となった。

9:30 頃

オスマニエ災害対策本部到着。現地医療関係者とともに新しい活動サイトに向かう。新しい診療サイトは、オスマニエ中心部から東へ30分ほど行った「バーチェ」という地域。小さな町で、この町にある Bahce Devlet Hastanesi という病院の前に設置された仮設診療所で活動を予定している。

10:30 頃

バーチェの病院に到着。ここには UMKE というトルコの国立医療レスキューチームが入っており、2名の医師が昼夜問わず、約200名の患者を対応しているとのこと (内科疾患がほとんどで、外傷患者ほとんどいないとの話)。重症であれば救急車が2台あ

り、オスマニエへ搬送可能であるとのこと。UMKE が設置している仮設診療所で診療を開始。当初は内科疾患が多いとの情報だったが、外傷患者が多く来院。地元医療者にトルコの治療方法のスタンダードについて指導を受けながら実施した。（仮設診療所はテントで、周りに大きな建物もないため余震によるリスクもない）本日は 20 名の外科系患者を対応。全て EMTCC へ MDS の報告を完了し、17:00 頃本日の診療を終了した。

※途中、診療所エリアで誤って地元の車両が犬を引いてしまう事故が発生。TMAT メンバーはその犬のケガの対応を実施。その風景をみていた地元の住民から、TMAT への信頼を得ることができた。

17:00 頃

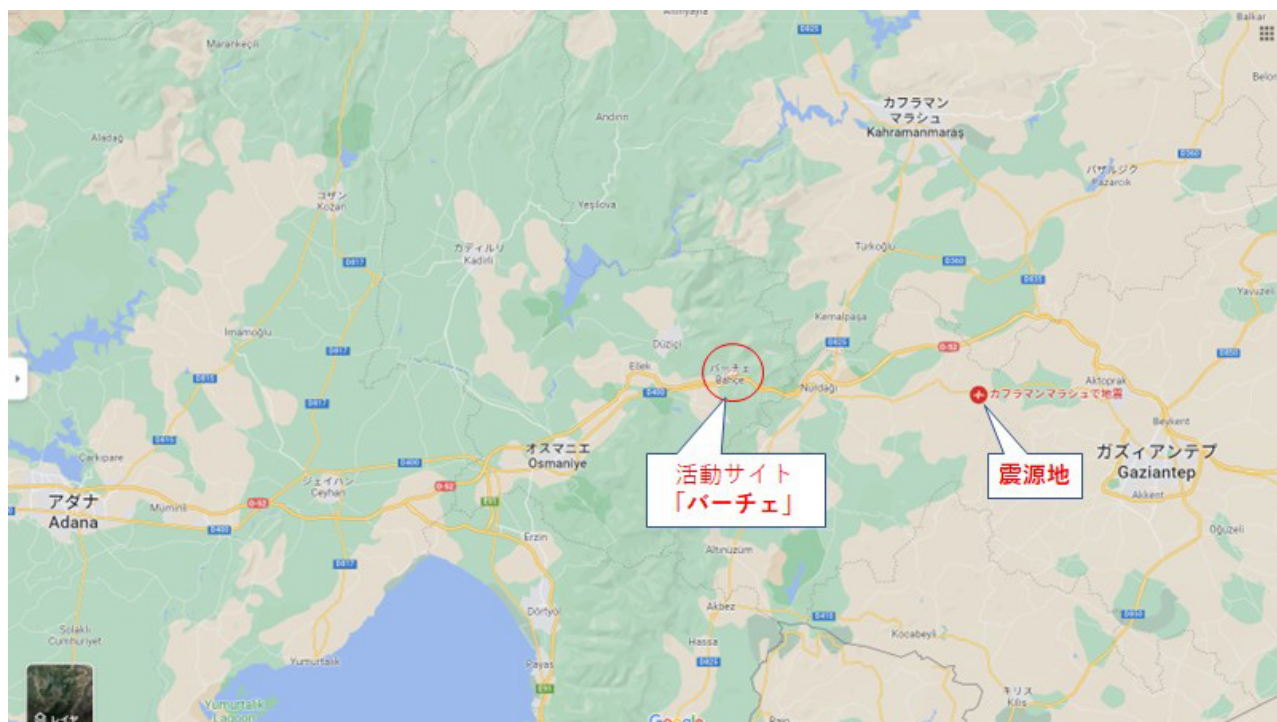
バーチェの活動サイトからアダナに向けて出発。

19:00 頃

アダナの宿舎到着し、ミーティングを実施。明日以降は 9 時～17 時まで診療を実施することとした。また、アダナからバーチェまで移動に 2 時間かかるため、毎日朝 7 時に出発することにした。

23:30 頃

第 1 陣 2 班の 4 名がアダナに到着、宿舎の先遣隊・第 1 陣 1 班と合流した。明日からは第 1 陣 10 名が中心となり活動を行う。また先遣隊 3 名は、明日 14 日夜の便でアダナを発ち帰国する予定。



活動サイトの位置



診療活動の様子



本隊第1陣2班

右から：村田医師、浅野看護師、西沢ロジ、坂口薬剤師

なお、TMAT では今回のトルコ南東部地震支援に関するクラウドファンディングを開始しています。ぜひご協力いただきたいとともに、皆様のお知り合いにもお知らせいただけると幸いです。

TMAT トルコ南東部地震支援クラウドファンディング

2023年トルコ南東部地震
クラウドファンディングご協力のお願い
【緊急医療支援へのご協力をお願いします】



事務局担当

野口 幸洋 (NPO 法人 TMAT / 一般社団法人徳洲会東京本部)
阪木 志帆 (NPO 法人 TMAT / 一般社団法人徳洲会東京本部)

文責 事務局 野口 幸洋